No. 175
令和３年１１月発行
バーチャル五島市発

心のふるさと五島市からおとどけする

～ふるさとからの手紙～

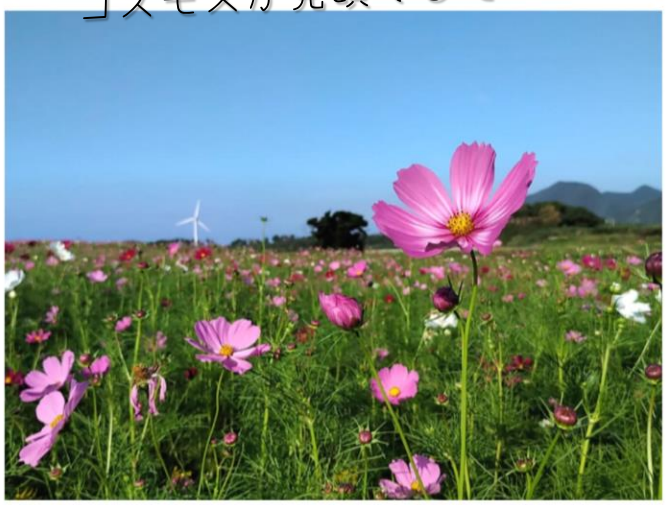
<10月25日現在>
五島市心のふるさと市民
22,159人
おかげさまで
22,000人突破！

10月24日(日)、秋晴れの中、玉之浦カントリーパークにて「たまんな収穫祭」が開催されました。久々のイベントということで来場者も多く、ハンバーガー、カレー、クラフトビール販売をはじめとした、フードトラックの出店には行列ができていました。また、フリーマーケットでは、ハンドメイド作品やぬいぐるみ、雑貨や古着などの出店があり、大人も子どもも夢中で覗き込んで買い物を楽しんでいました。

会場内では、子どもたちがシャボン玉を飛ばしていたり、おもちゃを持っておいかけっこをしたりと、笑い声があふれていました。

この日は、1000人超の来場があったそうで、グラウンドには来場者のたくさんの車が！カントリーパークを初めて訪れた方もいたようで、今度またお弁当持って来ようか、来るまでの道のりで気になるお店を見つけたから、今度は行ってみようか、などと楽しそうに話している方もいました。

10月は魚津ヶ崎公園の
コスモスが見頃でした



ライトアップも
してたにゃ～

五島列島ジオパーク構想

ジオとかんころ餅

五島の名産品、かんころ餅をご存じですか？

カンコロとお餅、砂糖をつきあわせた、素朴であま～い餅菓子です。ふるさと納税の返礼品としても人気があります。

「カンコロ」とは、五島の方言で、切り干し芋を指します。どうして五島で作られてきたのでしょう。

サツマイモは、江戸時代初期に長崎県沿岸に持ち込まれ、特に大村で作られており、五島列島には、大村からの移民によってサツマイモがもたらされました。その移民には「潜伏キリシタン」が多く、彼らは島の中でも、まだ人が住んでいない傾斜地や山奥、狭い入り江などに住むことになります。

例えば、火山の台地である三井楽は、水持ちの悪い土地が多く、葉物栽培や稲作には不向きでしたが、サツマイモは、むしろこのような土地に適していました。収穫したサツマイモは、長期保存するために干して乾燥させ、カンコロにし、主食としていました。

また、貴重なもち米をかさ増しするために、カンコロを混ぜることで、芋による餅を作りました。

かんころ餅。カットして軽く焼くとやわらかさが戻ります。

天日干しの様子

かまぼこ状に形成

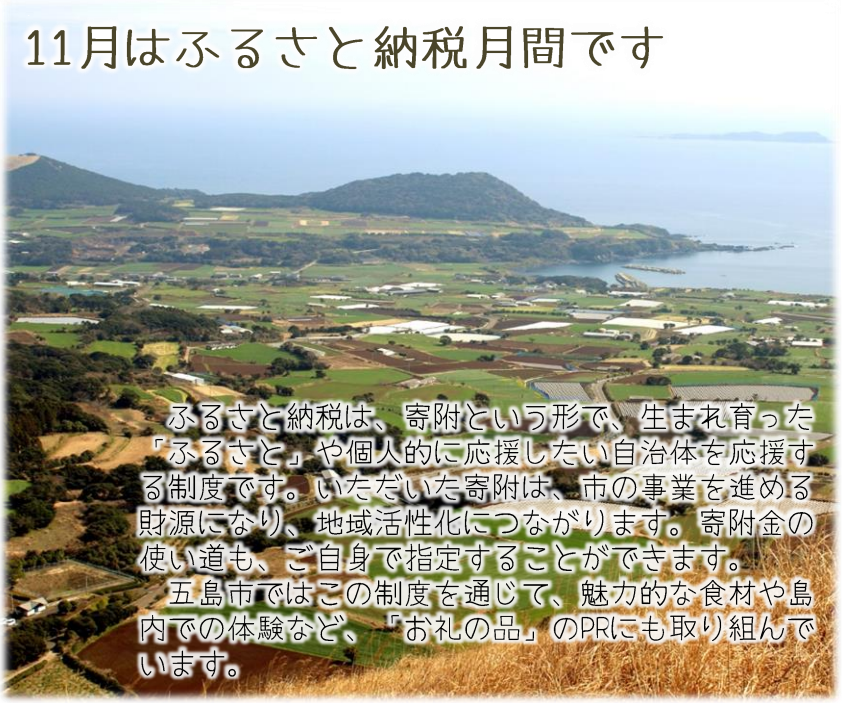
このような生まれのかんころ餅も、今では立派な島を代表するスイーツです。次にかんころ餅を食べるときは、その歴史と背景に思いをはせながら食べてみるとまた一段と美味しく感じられるかもしれませんね。

「ここでは魚がよく獲れるけど、なぜ？」「この岩はどうしてこんな形？」など、大地の成り立ちやと仕組みに興味を持って、「なぜ？」がわかると、今までとまた景色が変わって見えてきて、きっと楽しくなりますよ。

五島列島ジオパーク推進協議会は、認定にむけての現地審査を11月19日㈮～22日㈰に控えています。審査結果は、来年1月下旬発表予定です。

ジオに関する問合せ：五島市ジオパーク推進協議会
0959-72-6782

11月はふるさと納税月間です



ふるさと納税は、寄附という形で、生まれ育った「ふるさと」や個人的に応援したい自治体を応援する制度です。いただいた寄附は、市の事業を進める財源になり、地域活性化につながります。寄附金の使い道も、ご自身で指定することができます。

五島市ではこの制度を通じて、魅力的な食材や島内での体験など、「お礼の品」のPRにも取り組んでいます。

YouTube『五島列島ジオチャンネル』随時更新中

チャンネル登録よろしくね！

編集後記

月半ばまで30度近い日が続き、日が落ちるのだけが早くなるばかりでしたが、17日からグッと気温が下がり、慌てて冬支度を始めました。関東にいた頃、五島でもコートは必要だし、たまに降雪もするという話をしたら、「意外」と度々言われていたことを思い出しました。海が綺麗だと南国イメージが強く、温暖な気候を想像するみたいですね。

ふるさと市民カードについて

- ●有効期限はありません。発行から脱退するまで有効です。
- ○「ふるさと市民カード」は表記人のみご使用ください。ご家族の追加登録も受け付けています。
- ●ふるさと市民の特典を受ける際は事前に特典提供先にご確認ください。
- ○住所やメールアドレスなど変更が生じた方はご連絡ください。

《発行》
「五島市心のふるさと市民」事務局
（五島市政策企画課内）
TEL　0959－72－6782
FAX　0959－74－1994
E-mail　furusato@city.goto.nagasaki.jp
五島市市章